

当初計画	活動実績	当初計画						実績							
		平成 年度		7		8		9		10		11		12	
		西暦 年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000	西暦 年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000
年・月-年・月	7.9-8.3	8.4-9.3	9.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-12.9	年・月-年・月	7.9-8.3	8.4-9.3	9.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-12.9		
<b>1. 人口統計情報システムの構築を行う</b>	<b>1. 人口統計情報システムの構築が行われた</b>														
a. 統計情報データベースの構築	a. データベース用(Sun-1000E)VS/GIS/PC等機材:Oracle-7等のソフトの調達供与及びソフトのインストール・マニュアル作成等実施 / データベース/ネットワークサーバー管理技術者の研修を行った														
b-1 分散処理システム	b. データベースの分析・設計・構築を行う/BDCEN91の機能を向上し、ネットワークへの対応・ユーザーインターフェースの改良を実施し、GISシステムとのリンク等新システムを開発した														
b-2 人口統計集計及びデータ提供のためのネットワークシステムの構築	c. データベース利用システムをDiscoverer/ SAS-AR等を利用して、開発した これは、自由な収集データ項目の選択/収集結果を併ることを目的に開発された														
c. GISの導入	d. ネットワークシステムの機能向上をINDECが行った e. バックアップシステムの準備のため、ハード/ソフト機材を供与した f. GISを導入し、地域境界情報を都市部/農村部共入力した														
<b>2. 2000年人口センサスの準備を行う</b>	<b>2. 2000年人口センサスの準備が行われた</b>														
a. 1991年人口センサスの評価	a. 1991年の人口センサスの評価会議を開催し、諸項目の検討を行い、整理した														
b. 試験調査の実施	b. 1996-1999年の間に、計6回の試験調査を実施し、検討項目の整理を行った														
c. 調査区設定とGISシステムの利用	c. 調査区の自動設定の試験を実施し、効率的実施の検討を行った														
d. 集計・広報計画	d. 人口センサスの「集計計画」を作成した														
e. センサス広報・宣伝	e. 「アルゼンティン人口センサスの広報・宣伝計画」を作成した														
f. モデル地域分散データ情報処理	f. 1998年から全県24州を4グループに分け、2000年センサスを全州参加の上実施し 協力関係の強化に努めた														
g. データ入力機器(OCR,ON(R)の検討	g. プロジェクトとカウンターパートとの合同会議を実施し、(計52回開催) ・ここで検討課題の解決を図り、意見交換を行った/また、OCRソフトについての検討実施														
h. 人口センサス結果の利用手法の指導	・OCR/自動コーディング等の検討 ・人口センサス結果の利用手法指導														
・その他	・アルゼンティン人口統計学会/メルコスール人口センサス会議に出席して、 2000年人口センサスの準備状況を対外的に示し、 国内及び南米各国の人口センサスに関する情報収集に努めた														
<b>3. 人口センサス要員の教育・訓練を行う</b>	<b>3. 人口センサス要員の教育・訓練が行われた</b>														
a. 教育・訓練プログラムの作成	a. INDEC&州統計職員を対象に統計実務者研修用及び調査訓練用のプログラムが作成された														
b. 教育・訓練の実施	b. 1997年から上記プログラムに従って、3年間に104人の統計実務者(中堅技術者)の研修及び試験調査時に調査員に対する訓練を実施した														
c. 人口センサス実施のための要員訓練	c. 人口統計に関する分析手法・日本の事例等を紹介し、INDEC & 州統計局の職員の調査結果利用に関する認識を深めるため、1997年から、日本からの短期専門家の協力を得て、7回のセミナーを実施した (セミナー出席者:計約800名余)														
	d. INDEC&モデル州にパソコン等の機材を供与し、統計研修室を設置した それによって、INDEC & 州が独自の研修ができる体制を整備した														
	e. VIDEO, CD-ROM等の作成の支援を行い、遠隔視覚教育等を行うための、プロトタイプが開発された														

